

1 基本情報

大項目	たくましい都市活かづくり
中項目	地域産業の振興
小項目	農業
施策の方針	農産物の供給・緑豊かな景観の提供・交流の場の創出・地域文化の継承など、多面的な役割を果たす農業を地域の産業として健全に守り育てるため、農地の保全や農業基盤の整備を図るとともに、農業経営の安定化・強化への支援を行います。また、担い手の育成、生産団体の支援などにより、魅力ある将来性の高い農業への道筋を作っていきます。さらに、安心・安全な農作物の提供、地産地消の推進とともに、農業体験や市民農園を通じた市民交流を促進します。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

- 後継者や新規就農者の確保には、農業経営での安定した収入の確保が必要です。
- 市民が農業に親しむ機会を増やすとともに、農業経営の多角化策として体験農園の拡大が期待されています。
- 農業者の高齢化や減少により遊休農地が生じており、その有効活用のため、担い手の確保が必要となっています。また、農業振興地域の農用地区域で、住宅地と農地が混在する等、農地の荒廃・遊休化・転用が進んでおり、農地の保全と、農地としての有効利用のための効率化・高度化が必要となっています。
- 多くの市民が地元の農産物を知り、消費する地産地消を拡大する必要があります。
- 農業生産には農道、用排水路等のハード面に対する支援も必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	69,744	58,755			
人件費(予算)	123,870	112,309			
合計	193,614	171,064	0	0	0
対前年比	—	88%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	A	経営改善計画が認定された農業者の割合		3.3	3.3	—	—	—	—	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画が市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人を認定農業者という。この認定農業者は各種支援の対象になるため、この維持・増加を目指し、各生産団体などの意欲ある農業者の認定を推進する。	
		農政課	農業者のうち、地域農業再生協議会で経営改善計画が認定された農業者の割合(累計)	↗	—	3.3	3.3	—	—	—	
				%							
2	C	体験農園の開設数		3	3	—	—	—	—	上尾市産業振興ビジョンのスタートアップ事業に位置付けられた事業である。平成26年度からは、新規の農業体験農園開設費を助成し、遊休農地所有者等に対する体験農園開設について奨励したが、平成28年度は開設希望がなかったものである。引き続き遊休農地所有者等の開設希望者を募集する。	
		農政課	開設された体験農園の数(累計)	↗	—	4	4	—	—	—	
				園							
3	A	利用権が設定された農地の面積		55	46	—	—	—	—	農地を貸したい地権者と農地を拡大したい耕作者を市が仲介し、農地の利用権設定により耕作者への農地の集積を促進した。今後も地権者及び耕作者の情報を幅広く収集し、担い手への農地の集積を促進してゆく。 ※平成28年度は大規模耕作者の作付計画の変更(主要作物の転換)により集積面積は低調となったものである。	
		農政課	利用権設定促進事業に基づき利用権が設定された農地の面積(累計)	↗	—	46	54	—	—	—	
				ha							
4	A	あげお朝市の年間売上額		314	332	—	—	—	—	平成28年度のあげお朝市は、月1回、年間12回開催した。引き続き、来客数の増加を図り、本市の農業をPRし地産地消の推進に貢献していく。	
		農政課	「あげお朝市」の年間の売上額(単年度)	↗	—	330	340	—	—	—	
				万円							
5	A	自己保全管理を含めた耕作放棄地解消面積		1.8	13.0	—	—	—	—	荒廃農地の発生・解消状況に関する調査に基づく解消確認面積を公表している。平成28年度に農地パトロールの方法を見直したことで、耕作放棄が解消されたとみなせる農地が多く発見され、例年より大きな値となったものである。	
		(農政課) 農業委員会事務局	自己保全管理を含めて耕作放棄が解消された農地の面積(単年度)	↗	—	2.0	2.0	—	—	—	
				ha							
6	C	多面的機能支援事業の対象となっている農地の保全面積		75.3	75.0	—	—	—	—	水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行ってきたものの、平成28年度は一部の農地で荒廃が進行した。今後、保全活動に関する情報提供や研修会の参加を促して農地の保全面積が広がるように支援していく。	
		農政課	多面的機能支援事業の補助対象となった農地の面積(単年度)	↗	—	75.3	75.3	—	—	—	
				ha							
7						—	—	—	—		
8						—	—	—	—		
9						—	—	—	—		
10						—	—	—	—		
11						—	—	—	—		
12						—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	67%	4/6
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	33%	2/6

1 基本情報

大項目	たくましい都市活かづくり
中項目	地域産業の振興
小項目	商業
施策の方針	魅力と一体感をもった取組を行うことにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ります。 また、地域の商店街や商店が積極的に魅力の向上に努め、地域コミュニティとの連携を支援します。 さらに、大型店などが地域の一員としての自覚を持ち、地域貢献を行うほか、地域の商店街や商店と連携して、共存共栄に向けた取組を支援します。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

- 市内商業の多くを占める中小小売店は、その数や売上額が年々減少しており、経営の安定化が必要です。
- 新たな商業の魅力をつくる一環として、同業種・異業種間の交流・連携や新たな顧客の獲得によるにぎわいづくり、起業に対する支援が必要です。
- 商店街の活性化を図るためには、地域大型店との連携や商店街が行う環境整備、各種イベントに対する支援が必要です。
- 中心市街地でも空き店舗が増えており、長年の開催で定着したイベントを、にぎわいの創出だけでなく、交流等により魅力ある店舗づくりにつなげていくことが必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	50,828	52,393			
人件費(予算)	9,414	41,041			
合計	60,242	93,434	0	0	0
対前年比	—	155%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	H32	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	各年度目標値					
		単位	—	H28	H29	H30	H31	H32		
1	C	中小企業サポート件数(商業分野)		2	0	—	—	—	—	企業の求めに応じ、課題解決に向けたサポートを行っている。現在、窓口での対応などで済む事例が多く、コーディネーターの派遣まで進む例は少ない現状であるが、今後も更なる制度の周知に努めていく。
		商工課	商業分野で中小企業サポート制度を利用した件数(単年度)	↗	—	2	2	—	—	
2	B	農商工観ポータルサイトの訪問者数		166,395	170,206	—	—	—	—	農商工観ポータルサイト「あげポタ」の運営については、開設2年で一定のアクセス数を確保しているものの、今後も内容の充実、表示速度の改善を行っていく。
		商工課	農商工観ポータルサイトにアクセスした件数(単年度)	↗	—	252,000	288,000	—	—	
3	A	商店街環境整備事業・商店街活力再生事業の補助件数		12	11	—	—	—	—	街路灯整備等及び販売促進事業等に対する補助は、商店数が減少する中で商店街の維持、活性化のため継続する必要がある。
		商工課	上記の事業による補助を受けた件数(単年度)	→	—	11	11	—	—	
4	A	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数		10	9	—	—	—	—	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアをメインに、音楽をテーマにしたイベントを開催し、賑わいの創出を図る。複数個所でのイベント実施、「まちバル」「出張商店街」との同時開催で来客動員を高めている。県外も含めて多くの来場があり、工夫を加えて魅力あるイベントに育てていく。
		商工課	「まちフェス」に参加した店舗の数(単年度)	↗	—	9	9	—	—	
5	A	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数		15,000	15,000	—	—	—	—	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアをメインに、音楽をテーマにしたイベントを開催し、賑わいの創出を図る。複数個所でのイベント実施、「まちバル」「出張商店街」との同時開催で来客動員を高めている。県外も含めて多くの来場があり、工夫を加えて魅力あるイベントに育てていく。
		商工課	「まちフェス」に来場した人の数(単年度)	↗	—	15,000	15,000	—	—	
6	C					—	—	—	—	
					—		—	—	—	
7						—	—	—	—	
					—		—	—	—	
8						—	—	—	—	
					—		—	—	—	
9						—	—	—	—	
					—		—	—	—	
10						—	—	—	—	
					—		—	—	—	
11						—	—	—	—	
					—		—	—	—	
12						—	—	—	—	
					—		—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	60%	3/5
未達成	B 前年度より改善しているもの	20%	1/5
未達成	C 前年度より改善していないもの	20%	1/5

1 基本情報

大項目	たくましい都市活づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	工業
施策の方針	地域で伝えられてきたものづくりの技術を磨き上げ、市内の中小企業が高い競争力・収益力を持つことができるよう支援します。また、これまで培われてきたネットワークをもとにした同業種・異業種間交流、産学官連携などによる、共同研究や共同受注などの自主的な取組や、技術開発・販路開拓、人材育成に対する支援を行います。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

●本市の工業の多くは二次・三次加工の中小企業が多く、経済変動等の影響を受けやすいため、経営の安定化が重要です。

●個々の企業の経営基盤を安定させるには、市内外の同業種・異業種間での交流・連携による技術や製品の開発・PR等が必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	37,008	48,188			
人件費(予算)	18,911	21,883			
合計	55,919	70,071	0	0	0
対前年比	—	125%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	C	中小企業サポート件数(工業分野)		13	5	—	—	—	—	企業の求めに応じ、課題解決に向けたサポートを行っている。現在、窓口での対応などで済む事例が多く、コーディネーターの派遣まで進む例は少ない現状であるが、今後も更なる制度の周知に努めていく。	
		商工課	工業分野で中小企業サポート制度を利用した件数(単年度)	件	—	13	13	—	—	—	
2	A	あげお工業フェアへの出展件数		32	32	—	—	—	—	市内で生産された工業製品の展示や実演等により、事業所への理解を深めてもらうとともに新たな取引の開始、出展者同士の情報交換や交流により、市内工業の振興を目的に出展件数の増加を図っていく。	
		商工課	「あげお工業フェア」に出展した企業・団体の件数	件	—	32	33	—	—	—	
3							—	—	—		
4							—	—	—		
5							—	—	—		
6							—	—	—		
7							—	—	—		
8							—	—	—		
9							—	—	—		
10							—	—	—		
11							—	—	—		
12							—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	1/2
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	1/2

1 基本情報

大項目	たくましい都市活かづくり
中項目	地域産業の振興
小項目	観光
施策の方針	歴史や自然など、本市独自の地域資源を活かすことにより交流人口を増やし、地域ににぎわいが生まれるような取組を進めます。また、食やイベント、土産などにおいて、本市ならではのものが創られ、産業の振興や上尾のブランド力の向上につながるよう取り組んでいきます。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

●観光情報を集約化し、ニーズに応じたさまざまな媒体や形態で、市内外に本市の魅力を発信していくことが求められています。

●上野東京ラインの開通を機に始まった県央地域(上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町)等、広域での観光プロモーションを継続していく必要があります。

●観光客の誘致に向け、特産品の開発や映画等の撮影場所のPRによる知名度の向上、あげお花火大会等のイベントの充実が必要となっています。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	40,909	43,081			
人件費(予算)	39,969	6,771			
合計	80,878	49,852	0	0	0
対前年比	—	62%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	A	観光協会ホームページ・農商工観ポータルサイトのアクセス数及び観光協会のツイッターのフォロー件数	300,000	343,403	—	—	—	—	—	各種媒体を利用した観光情報を発信しており、実績値は増加しているものの、今後も更なるコンテンツの充実に努めていく。	
		商工課	観光協会HP・あげボタへのアクセス件数+観光協会ツイッターのフォロー件数(単年度)	件	—	330,000	350,000	—	—	—	
2	A	広域観光キャンペーン及びイベント数	7	3	—	—	—	—	—	上尾イルミネーション開催期間中に、上尾市を含めた近隣観光協会のPR、物産品の販売、ゆるキャライベントを行う。その他、近隣市町で行われるイベントに参加する。 ※平成27年度は高崎線上野東京ラインの開通などでイベントが一時的に増えたためであり、平成28年度の目標値を基準とした。	
		商工課	広域観光キャンペーン及びイベントの開催数(単年度)	回	—	3	4	—	—	—	
3	A	観光協会推奨土産品認定件数	42	42	—	—	—	—	—	優良な土産品を推奨することにより、当該土産品の普及ならびに品質の向上を図り、もって市内における産業の振興に寄与することを目的として実施しており、今後も認定件数の増加に努めていく。	
		商工課	観光協会が推奨土産品として認定した土産品の件数(累計)	件	—	42	44	—	—	—	
4	C	映画等の撮影受付及び撮影実施数	88	56	—	—	—	—	—	市内の撮影場所のPR、撮影時の仲介やエキストラ募集等、映画やテレビドラマ等のロケーションの誘致や支援を行う。平成28年度では実績が少なかったものの、引き続き魅力ある情報の発掘と発信、制作会社からの問い合わせに地道な努力が必要と考える。	
		商工課	映画等の撮影受付件数+撮影が行われた件数(単年度)	件	—	88	88	—	—	—	
5	A	上尾夏まつり、あげお花火大会、あげお産業祭の来場者数	335,000	342,000	—	—	—	—	—	市を代表するイベントであるため、市内外から多くの来場がある。今後も安全を確保することを第一に魅力あるイベントの継続に努める。	
		商工課	「夏まつり」「花火大会」「産業祭」の来場者数(単年度)	人	—	342,000	350,000	—	—	—	
6					—	—	—	—	—		
7					—	—	—	—	—		
8					—	—	—	—	—		
9					—	—	—	—	—		
10					—	—	—	—	—		
11					—	—	—	—	—		
12					—	—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	80%	4/5
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	20%	1/5

1 基本情報

大項目	たくましい都市活かづくり
中項目	労働環境の充実
小項目	勤労者・就労支援
施策の方針	市内の勤労者が安心して働けるよう、勤労者福祉の向上を進めるとともに、希望する市民が就労できるよう、国や県、近隣市町と連携して支援を行います。

2 現況と課題（平成28年度末の状況）

●市内の事業所の94%を占める従業員30人未満の小規模な事業所は、勤労者の福利厚生対策等が十分とは言えないことから、勤労者の就労や生活の安定のため、勤労者福祉の一層の推進が必要です。

●変化する経済環境の中にあつて、希望しても就労できない市民もいます。就労を希望する市民に対し支援していく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費(予算)	253,176	253,446			
人件費(予算)	3,551	3,799			
合計	256,727	257,245	0	0	0
対前年比	—	100%			

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31		H32
					各年度目標値						
1	C	上尾市勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数		709	686	—	—	—	—	中小企業の勤労者の福祉の向上を図るとともに、地域の企業の振興及び地域社会の発展を目的とした法人である。会員数はおおむね現状を維持しているが、事業所数は減少しており、今後も会員事業所の確保に継続して努めていく。	
		商工課	勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数(単年度)	↑	—	710	710	—	—	—	
2	A	就職面接会参加者の就職者数		4	7	—	—	—	—	公共職業安定所の協力のもと、2市1町等で構成する雇用対策協議会主催の就職面接会を継続していく。	
		商工課	雇用対策協議会主催の就職面接会の参加者で、実際に就職した人の数(単年度)	↑	—	7	7	—	—	—	
3						—	—	—	—		
4						—	—	—	—		
5						—	—	—	—		
6						—	—	—	—		
7						—	—	—	—		
8						—	—	—	—		
9						—	—	—	—		
10						—	—	—	—		
11						—	—	—	—		
12						—	—	—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	1/2
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	1/2